

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
作詞・作曲 3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	大野元毅			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
ポピュラー音楽の1番の基本となる、作詞と作曲。この2つが欠けては歌モノのジャンルは到底制作できない。この授業ではそういった1番の核となる部分を中心にオリジナル曲の根拠となるメロディーと歌詞の創作方法を過去のヒット曲から分析し自ら制作できるようにする。											
到達目標											
作詞、作曲において重要な歌詞とメロディの関係をヒット曲を用いて分析できるようになる。また作詞、作曲に必要な音楽理論を復習し、理論的な角度から良いメロディー、良い歌詞とは何かを考えられるようになる											
授業方法											
講師指定の既存楽曲を歌詞の側面、メロディーとサウンドの側面から分析する。男声女声の音域、Aメロ、Bメロ、サビのようにセクションによって変化するメロディーの特徴、歌詞の特徴などから、メロディーと歌詞の関係性を学ぶ。定期的にメロディー譜を写譜をし提出することで見本となるような譜面のイメージを掴みながら音楽制作の現場で使われている作詞作曲のテクニックを学ぶ。											
成績評価方法											
授業内試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
授業内で資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	ポピュラー音楽の作詞、作曲の重要性を1年次の復習を兼ねて学ぶ。										
第2回	分析に必要な度数について復習し、把握できるようになる										
第3回	分析に必要なコードについて復習し、把握できるようになる										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科	
作詞・作曲 3	
第4回	日本語について学ぶ。日本語と他の言語の音響学的な違いを理解する。
第5回	英語について学ぶ。英語と他の言語の音響学的な違いを理解する。
第6回	良いメロディーとは何か？基本的なメロディの作り方、考え方を理解する
第7回	良いメロディーとは何か？基本的なメロディの作り方、考え方を理解する（2）
第8回	楽譜の書き方と写譜、浄書。楽譜の書き方のルールを学ぶ。
第9回	楽譜の書き方と写譜、浄書。楽譜の書き方のルールを学び実践する。
第10回	ヒット曲を歌詞とメロディの視点から分析し、良いメロディとは何かを考える
第11回	ヒット曲を歌詞とメロディの視点から分析し、良いメロディとは何かを考える（2）
第12回	実際の課題に即した作詞。あるコマーシャル曲を題材にオリジナルの楽曲を考えてみる
第13回	実際の課題に即した作詞。あるコマーシャル曲を題材にオリジナルの楽曲を考えてみる（2）
第14回	テストとしての自作曲のメロディー譜と歌詞の提出。
第15回	前期まとめ